

くじらのゆめ、海

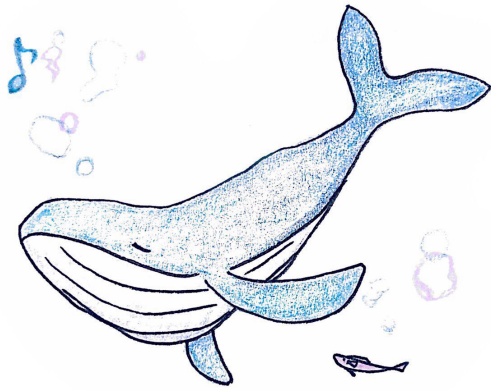
1、孤独なクジラ

「孤独なクジラ」の話を、君は聞いたことがある？

小さい頃から、父さんが聞かせてくれるそのおとぎ話が、

僕は大好きなんだ。

それは海の中、ひとりぼっちで歌うクジラの話…



いつも僕はひとりなんだ、誰も近づきやしないさ

君はどこを見て話しているの？そうか君は仲間がいるんだ
いいな、僕も仲間たちと一緒に唄を歌いたいな

でもさ僕は嫌われ者だから今日もひとりで歌を唄う

ひとりぼっちの唄は水に溶けてって

後に残るは泣くクジラの声だった

「大丈夫、」とひとり上を向いて笑った

笑っていても涙は止まらなかった

ある日、歌を唄う僕に君は素敵だと言っんだ

君はどこを見て話しているの？そうか君は僕を見てたんだ

ひとりぼっちの唄はとても寂しくて

ひとりぼっちの唄はもう散々で

君と一緒に歌いたいと僕は言う

君はもちろんさと笑顔で腕を引いた

ひとりぼっちの唄は響き輝いて

後に残るは笑うクジラの声だった

「ひとりじゃない。」と上を向いて笑った

ひとりぼっちのクジラはいなくなつた



いつも父さんは
僕に会いに来て、
この絵本を
読んでくれる。
そして父さんが
来てくれた夜は
いつも同じ夢を見る。
クジラに乗った
誰かの歌声、
暗くて深くて
でも温かい、
青い海の底の夢。

2、ゆらめき

夢に見た丘は揺らめいて 深い海の底まで照らして
月影映して煌めいて 風に吹かれなびいた心が
空を泳ぐクジラ 取り憑かれて胸が踊る
いつかそこに居たと言うように 思い出の淵に
知ってるような知らないような歌を奏で
降り注ぐよさざ波 揺れる星乗せて
夢に見た木々は揺らめいて 高い空の彼方に輝く
空を渡るクジラ手を伸ばし ガラス越しの記憶に
知ってるような知らないような声が歌う
降り注ぐよ水影 揺れる心まで
知ってるような知らないような歌を奏で
降り注ぐよさざ波 揺れる星乗せて
空に：

彼らはどこに行くんだろう。

いつもはぼんやり眺めているうちに、

夢から覚めてしまっただけど、

今夜、僕は、クジラたちに声をかけた。

「僕も連れてって！」

クジラは振り向いて、僕に言った。

「おいで、一緒に歌おう。」

3、 Fate line

単純な心は空に広げる羽が

僕にもあるんだと疑いもせず踏み出した

もう手が届かないかな？諦めかけていたんだ

夢も憧れも生きることさえも

僕を呼ぶ光は空に高く登って

追いかけるには足が竦む

歌うあの人に逢いたいな

Who are you? Who are you? That sounds familiar.
じつと話したいことさっぱらあつ

Who are you? Who are you? He has already gone.

君が踏み出したその運命線は君だけの オリジナル 特別で

他の誰にも邪魔できないあの背中追いかけてよう

ずっと昔の僕に怖いものはなくて

正義の味方になれると思っていた

ぐっと手を伸ばしたらパパが持ち上げてくれて

果てしない空を飛んだ

歌うあの頃に戻りたい

Who are you? Who are you? That sounds familiar.

二度と戻らないと知っても

Who are you? Who are you? He has already gone.

君が火をつけたその導火線は暗闇を照らす光

他の誰かも目を引くような大輪の花火になれ

寂しさの波が僕を飲み込んで もがく時思い出した光

彼の影が手を引いた

君が踏み出したその運命線は君だけの オリジナル 特別で

他の誰にも邪魔できないあの背中追いかけてよう

クジラに追いついた！

でも、歌っていた誰かは

もういなかった。

「彼は行ってしまったよ。」

クジラは少し

寂しそうにそう言った。

「じゃあ今度は、

僕に歌を教えてよ！」

4、パラレルミライ

さあ、大きな声で 「楽しい歌、唄おう」

《雲の中泳いで星が流れてく》

また君に会えた 「約束なんてしたっけ？」

2人の出会いに花束を送ろう



歌に乗って手を取り合ってギュッと握って離さないで
本当はちよつとワガママだつてわかつてるけど
叶わない夢かなんてやってみなきゃわからないでしょ
信じてれば叶う！

少しだけ変えちゃおうキラいなミライを

運命に流されるだけじゃつまらない

飛んで！飛んで！時間旅行 飛んで！飛んで！だつて幸せ

飛んで！飛んで！明日はきっと 夢見るパラレル

もうすぐ太陽が「あつという間に朝だ」

《2人で過ごす時間すぐに過ぎてゆく》

「さっきの歌の話、」 大人になればわかるよ

答え探しの旅にさあ出かけようか

君は今変えたんだミライのジブンを

運命を飛び越えた君に会えたから

泳げ！泳げ！時間旅行 泳げ！泳げ！だつて幸せ

泳げ！泳げ！明日はきっと 夢見るパラレル

少しだけ変えちゃおうキラいなミライを

運命に流されるだけじゃつまらない

飛んで！飛んで！時間旅行 飛んで！飛んで！だつて幸せ

飛んで！飛んで！明日はきっと 夢見るパラレル

少しずつ海が朝焼けに染まる。

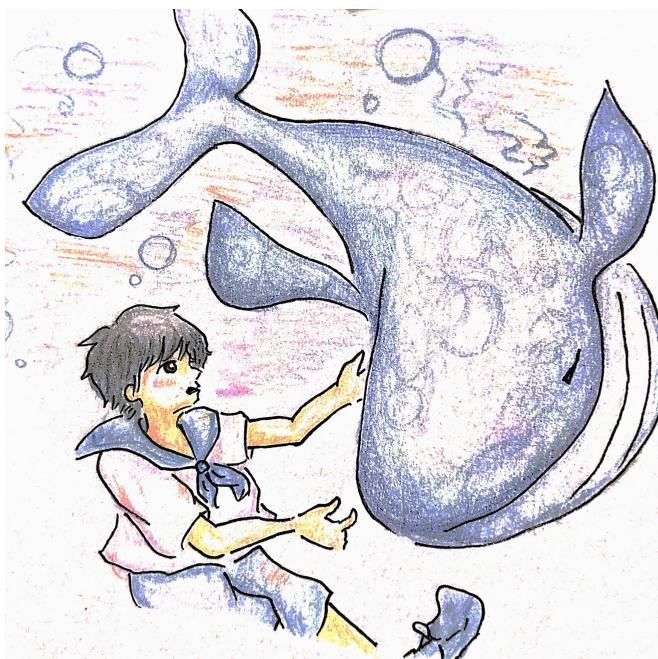
「そろそろ朝に到着だよ。」

僕はゆっくりとクジラの背中から降りた。

「僕が帰ったら、また君はひとり？」

「大丈夫。この歌を唄って、

また君が来てくれるのを待っているよ。」



5、君は、きつと

目が覚めた時思い出して温もり残る夢を
もうしばらくは会えないけれど寂しさなんて忘れて

明日が来たら君はまたひとつ
大きくなって空に羽ばたいて

嬉しい時も悲しい時も心にこの歌を唄って
少しだけ強くなれたら
抱きしめてあげるから、きつと

眠れない夜は思い出して優しく響く声を

季節が巡るその早さでさえ
忘れるほどすぐに背が伸びる

嬉しい時も悲しい時もここでこの歌を唄って
同じ場所で待ってるよ
いつでも戻っておいで

嬉しい時も悲しい時も心にこの歌を唄って
少しだけ強くなれたら
抱きしめてあげるから、きつと
ひとりでも大丈夫、きつと

目が覚めた。

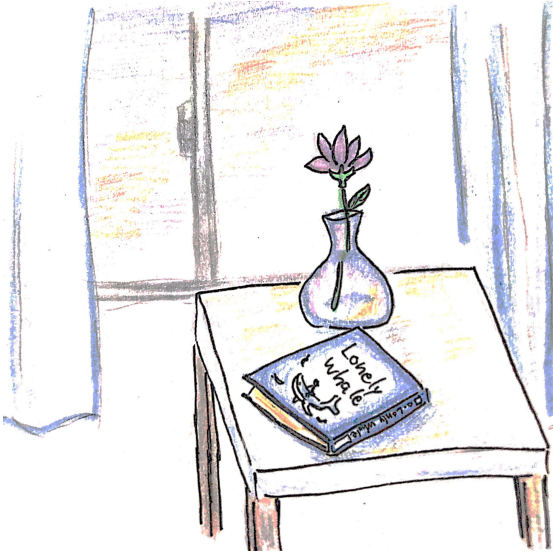
病室のベットは真っ白で、枕元に置いた

『孤独なクジラ』の絵本が目立つ。

僕は病気に勝てたみたいで、入院生活も今日で終わる。

また学校に行ったら、友達ができるかなあ…

きっと大丈夫、僕には、クジラの歌があるから。



6、約束

新鮮な心は朝日に目を覚まして
期待と不安で溢れた今日が始まる
単純な心は空に広げる羽が
僕にもあるんだと疑いもせず踏み出した

夢に見た歌が誘うこれからが僕のファンファーレ
空高く広がる世界に
まだ見たことのないものいくつ見つけるのかな

勇敢な心は路上の花にも揺れて
小さく微笑む君の傍に隠れる
完全な心は痛みにもくれずに
強いだけでは優しさとは違うらしい

朝が蕾を照らしていつの日か僕もカンタータ
果てしなく広がる地平線
この世界のどこか君は今もそこに

始まりの今歌に乗せてこれからが僕のファンファーレ
空高く広がる世界に
まだ見たことのないもの君に教えに行くから
いつか…

Navy are Saki Natsume , Yuri

1. 孤独なクジラ

music & lyrics by Saki Natsume
piano & arranged by Shiho

2. ゆらめき

music & lyrics by Yuri
arranged by Saki Natsume

3. Fate line

music & arranged by Saki Natsume
lyrics by Navy

4. パラレルミライ

music & arranged by Saki Natsume
lyrics by Yuri

5. 君は、きっと

music & lyrics by Yuri
arranged by Saki Natsume

6. 約束

music & arranged by Navy
lyrics by Yuri

mixed & Mastered by Ishida Japan
artwork by Amenojyaku , Yuri
novel by Yuri

Navy

Twitter @Navymusic_SY

HP <https://navymusicofficial.wixsite.com/navy>